

## 第 32 回スパズム・シンポジウム世話人会議事録

日 時：平成 28 年 4 月 14 日（木）7：00～  
会 場：ロイトン札幌 20F パールホール AB  
出席者：28 名

### 1. 第 32 回会長挨拶

東京女子医科大学東医療センター 糟谷 英俊 先生がご挨拶された。

### 2. 事務局報告（山口大学 石原 秀行 先生）

会員状況報告・会計報告がなされ承認された。

2014 年度は糟谷先生・大熊先生のご尽力があり、それぞれの医局から多数入会いただいたが、2015 年度は 2014 年ほどの入会はなく、会員数はやや減少した。

会費納入率に関しては、例年と大幅な変化はない。引き続き世話人を通じて会員増加を図っていきたい意向を伝えた。

収入・支出共に大きな変化はない。支出の部の「IV.印刷費」の減少については、前回は 2014 年度のスパズムロゴ変更に伴う費用が発生した一時的なものであったことを説明した。支出自体は、2013 年度以降減少傾向にある。

### 3. 第 31 回開催報告

鈴鹿回生病院 金丸 憲司 先生より開催報告がなされ、承認された。

今回の収支決算報告書については脳卒中の外科学会とスパズム・シンポジウムの合同の報告となること、スパズム・シンポジウム単独では出せないことなどご報告された。

今回、収入として発生した「学会返納金」に関しては、取り扱いが難しい状況であるが、金丸先生より脳卒中の外科学会へスパズム・シンポジウムへの還元もご検討いただいた旨をお伝えされている。

鈴木 倫保 先生より、今後 2017、2018 年と引き続き少し曖昧な収支報告になることが予想されるが、他 2 学会と協力して進めていく意向を示された。

### 4. 顧問退任

榑 寿右 先生(奈良県立病院機構 理事長)が退任された。

### 5. 世話人退任 — 新顧問への就任

渡辺 高志 先生（寺岡記念病院 脳神経疾患治療センターセンター長）が新顧問として承認された。

### 6. 次期会長挨拶

第 33 回会長 森 健太郎 先生（防衛医科大学校）がご挨拶された。

### 7. 次々期会長挨拶

第 34 回会長 佐々木 達也 先生（青森県立中央病院）がご挨拶された。

## 8. 次々々期会長選考

第 35 回会長に、石川 達哉 先生（秋田県立脳血管研究センター）が推薦され、承認された。石川 達哉 先生がご挨拶された。

鈴木 倫保 先生より、Stroke に属する 3 学会の取り決めにより、Stroke 期間中に「次々々期会長選出」までが必要となった経緯の説明があり、今回の次々々期会長 石川先生については、将来構想委員会メンバーにより推薦されたことを説明された。

## 9. 第 7 回スパズム・シンポジウム優秀論文賞について

第 7 回優秀論文賞の候補論文、選考委員、受賞論文の報告が行われた。基礎研究部門は、白尾 敏之 先生（山口大学）、臨床研究部門は山本 拓史 先生（順天堂大学）に決定した。

## 10. 将来構想委員会メンバーの交代について

会則第 7 条に基づき、2016 年度メンバーが以下 5 名で決定した。

- ・糟谷 英俊 先生（東京女子医科大学東医療センター） 前期会長
- ・森 健太郎 先生（防衛医科大学校） 今期会長
- ・佐々木 達也 先生（青森県立中央病院） 次期会長
- ・伊達 勲 先生（岡山大学） 世話人会選出メンバー
- ・鈴木 倫保 先生（山口大学） 事務局代表

## 11. 新世話人選出

推薦状・略歴の回覧の後、間瀬 光人 先生（名古屋市立大学）、中瀬 裕之 先生（奈良県立医科大学）の 2 名が新世話人として推薦され、承認された。

## 12. スパズム・シンポジウム研究について

- ・渡辺高志先生が進められている DPC 基盤研究などについてのご報告。

・糟谷先生より、薬剤の動注療法について今は保険適用になっていないが、今後何らかの形で認めてもらえるように学会として動くべきではないかのご意見があった。

⇒小笠原先生より助言いただき、厚労省に申請して適用申請が下りた事例があるとのことで、是非本件についても申請をすべきではないかとのこと。

申請の際に、既に一般的に使用されている案件であることと、ガイドラインを付けて申請すること、またスパズム・シンポジウム単独ではなく脳卒中学会、脳卒中の外科学会と合同で申請することをご教示いただいた。今後の進め方も含め、検討していく予定。